

## さいたま市長メッセージ（令和2年10月21日）

皆さん、こんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

先日、市内の新型コロナウイルスに感染された方が、お亡くなりになりました。ご冥福をお祈りするとともに、ご遺族には心からお悔やみを申し上げます。

本市では、10月19日までの1週間で、1,328件の検査を実施し、6名の新規陽性者が判明しています。前の週と比べ、26名増加しています。市内で複数のクラスターが発生しており、感染拡大防止に努めているところです。

複数の接待を伴う飲食店でクラスターが発生した、大宮南銀座地域の接待を伴う飲食店の全従業員を対象として、唾液によるPCR検査を実施します。対象店舗には、本日、案内通知を発送しております。

感染拡大を防止し、同地域の賑わいを取り戻すために大切な検査です。対象となる皆様には、ぜひ積極的に検査を受けていただくようお願いいたします。

市内の劇団稽古場で発生したクラスターは、10月20日現在で劇団関係者91名中74名が感染し、その多くが市外や県外にお住まいの方です。また、多岐にわたる確認・検証を必要とする特異事例であるため、埼玉県に協力を要請し、共に対応してまいります。

10月中旬を過ぎて、朝晩は冷え込むようになりました。まもなくインフルエンザが流行する季節になります。本市では、身近な医療機関において、新型

コロナウイルスと季節性インフルエンザの両方の検査が行える体制づくりを  
進めており、すでに218の医療機関で検査を実施しています。

市民の皆様は、新型コロナウイルスとの同時流行に備えるため、改めて  
基本的な感染症対策を徹底してください。